

みんなの議会

第56号

令和元年
5月号



P2

予算

31 年度当初予算

P4

予算

注目すべき今年度の事業

P7

活動
報告

女性議員と語る会

P9

委員会

調査報告

P10

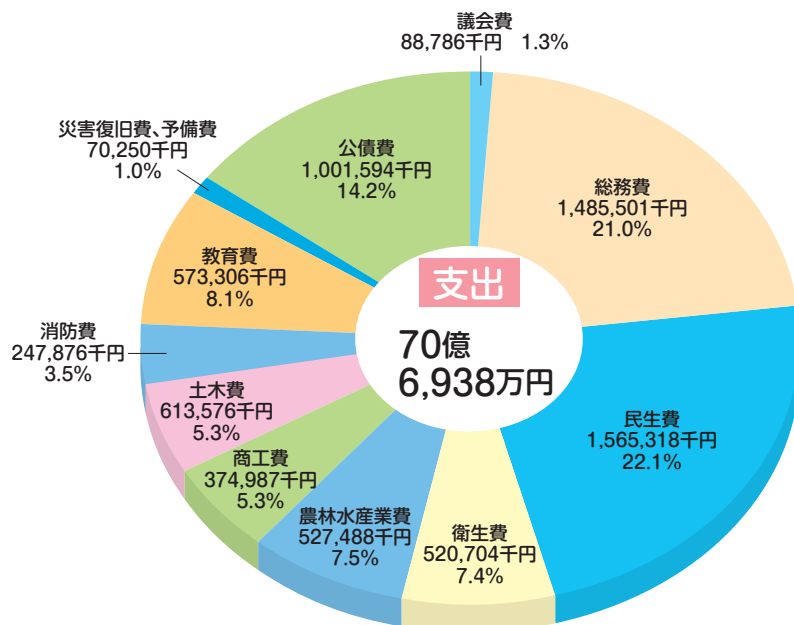
町政を
問う

一般質問 7 名が登壇

百万円 対前年度比 4億2千9百万円増

平成31年度	平成30年度	比較
70億6,938万6千円	66億3,949万円	4億2,989万6千円
12億6,438万7千円	11億8,243万7千円	8,195万円
3億1,619万3千円	4億5,419万5千円	△ 1億3,800万2千円
1億4,072万3千円	1億2,314万5千円	1,757万8千円
13億143万7千円	13億1,866万4千円	△ 1,722万7千円
1,792万2千円	1,656万5千円	135万7千円
5,154万1千円	7,266万5千円	△ 2,112万4千円
1億3,345万円	1億3,513万円	△ 168万円
102億9,503万9千円	99億4,229万1千円	3億5,274万8千円

歳出予算の内訳



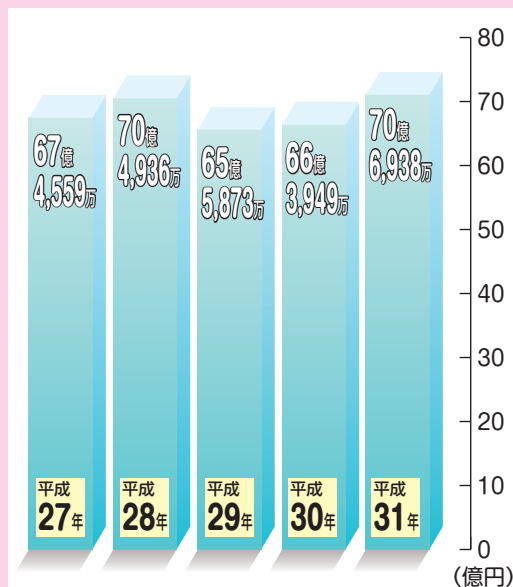
3月会議は5日から26日までの22日間開催され、31年度予算をはじめ、30年度補正予算、辺地総合計画の策定や請負契約の一部変更、条例などを審議し議決しました。



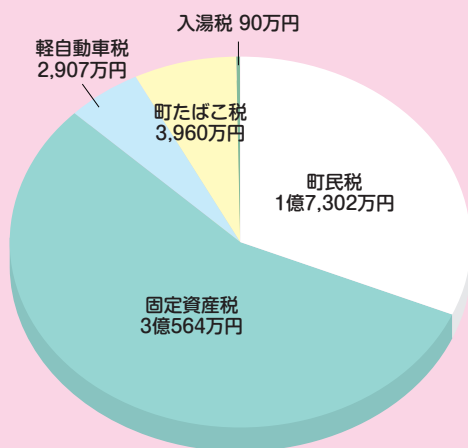
歳出では福祉等の施策で民生費の比率が最も高くなっています。また、庁舎建設に伴う総務費も増加しております。

一般会計は70億6千9

一般会計予算の推移



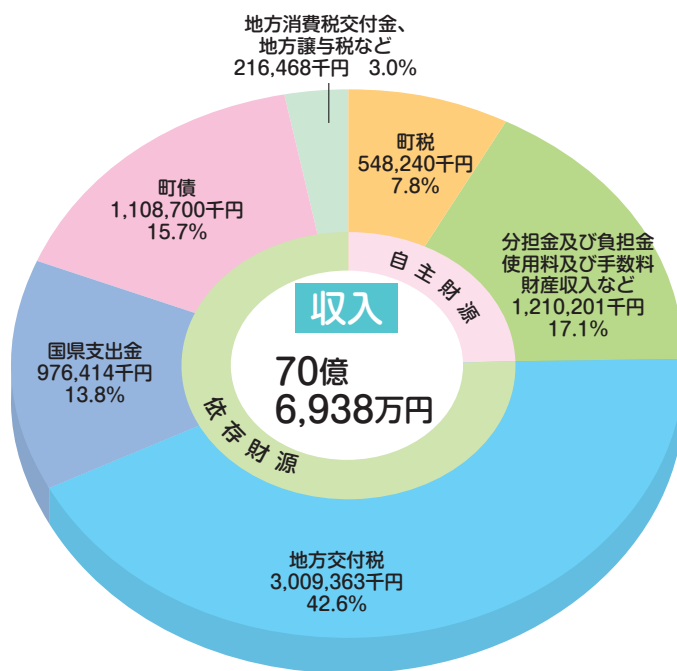
町税の内訳



会計名

一般会計	
特別会計	国民健康保険事業
	簡易水道事業
	診療所事業
	介護保険 (保険事業勘定)
	介護保険 (サービス事業勘定)
	下水道事業
	後期高齢者医療事業
合計	

歳入予算の内訳



歳入は「自主財源」と「依存財源」に大別できます。本町は自主財源に乏しく、国や県からの補助金、交付金及び借入金等の依存財源の割合が高くなっています。



WINDOWS7 から 10 へ更新

①電算管理事業

ネットワークセキュリティの強化、住民の情報資産保護を強固なものにするために万全な体制を構築します。

2020年1月に Windows7 のサポート終了のため Windows10 への更新作業を行います。

7,570万円



②庁舎建設事業

電気設備工事及び
給排水、空調工事
を発注

3億8,917万円



③児童遊園整備事業

幼児が安心して遊べる遊び場の
整備に取り組みます。

1,657万円

④大泊野営場整備事業

大泊地区（旧大泊小学校跡地）に野営場を整備します。交流人口の増加や地域の活性化を図ります。

6,000万円

⑤一般介護予防事業

65歳以上の全ての高齢者を対象とした各種健康教室を開催します。

1,028万円

⑥地域IoT実装推進事業（農業分野）

施設園芸農家のビニールハウスに温度・湿度等が測定できる機器を設置

1,500万円

予算委員会

31年度予算ココが知りたい

南大隅町フェア開催事業

議員 南大隅町フェアの目的と内容は何？

観光課 城山ホテルと連携し、参加者の会費制によるフェアを開催します。本町の産品を使用した食事の提供や観光、資源、特産品等の展示も行います。町のファンを増やす事を目的に、1万円の会費で、200名の参加者を予定しています。町の負担額400万円を計画しています。

佐多岬熱帯果樹施設整備事業

議員 佐多岬熱帯果樹施設整備事業の目的とその内容は？

経済課 ホテル佐多岬敷地内奥の未利用のハウスを改修して、熱帯果樹等の苗木を育成し生産者へ供給する事で、熱帯果樹振興の基盤強化を図ります。

また、パッションフルーツ、アボ



ホテル佐多岬敷地奥未利用ハウス

カド、パインアップル等を使用したジェラート等の加工品製造に向け、冷凍庫・冷蔵庫を購入しハウス内に設置する予定です。技術者を常駐させ、温度・水等の管理は自動で管理します。当初の予算を2,185万円見込んでいます。

ネッパイプレミアム商品券発行事業

議員 プレミアム商品券発行事業の内容と上限は？

企画課 地域経済の活性化及び生活支援を図る為、プレミアム商品券を発行し、個人消費を喚起し、地元消費の拡大と地域経済の活性化

を図ります。町負担額を500万円計画し、購入上限額や発券時期等は、商工会や商店街等と検討していきます。



平成 31 年度予算の委員会審査結果

会計名	採決結果
一般会計	可決
国民健康保険事業	可決
簡易水道事業	可決
診療所事業	可決
介護保険（保険事業勘定）	可決
介護保険（サービス事業勘定）	可決
下水道事業	可決
後期高齢者医療事業	可決

当初予算は予算審査特別委員会に付託され、委員会に於いて審議、討論、採決された後本会議に於いて、委員長報告の後、質疑、討論、採決が行われ、可否が決定します。

私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は表決には加わりません。

	浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予算	平成 30 年度 一般会計補正予算（第 10 号） 他 1 件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成 30 年度特別会計補正予算（全 7 件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成 31 年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成 31 年度特別会計予算（全 7 件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
辺地	辺地総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	条例の改正について（全 4 件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	大隅定住自立圏形成協定の変更について （他 1 件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	塵芥処理車購入契約の締結について（他 1 件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	工事請負契約の締結について（他 2 件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



平成 30 年 11 月 13 日、女性議員 3 名及び各種女性団体（8 団体）66 名で、お茶を飲みながら、テーマに沿って議論し発表するという「ワールドカフェ形式」で、女性議員と語る会・ふれあいトークが開催されました。

若い世代から幅広い世代が、1 つのテーマについて話し合うことで、お互いが刺激を受け、また堅苦しくなくオープンに意見が出され、大いに

「女性議員と語る会・ふれあいトーク」

終わりました。

終了後のアンケートでも、今後も引き続き開催されることを望む声が多数寄せられました。

私たち議員は、上がってきた声を、町政へ届けます。

町の活性化の為に、女性のパワーは不可欠です。

今後も、なお一層頑張っていくと力をいただいた一日でした。



3月・4月会議 一目でわかる審議結果

○全会一致の議案

議案第42号	54	「請負契約（佐多岬ふれあいセンター外壁改修工事）の締結について」の議決の一部変更について	3月5日	可決
議案第43号	55	南大隅町辺地総合整備計画の策定について議決を求める件	3月5日	原案可決
議案第44号	56	平成30年度南大隅町一般会計補正予算（第10号）について	3月5日	原案可決
議案第45号	57	平成30年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	3月5日	原案可決
議案第46号	58	平成30年度南大隅町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）について	3月5日	原案可決
議案第47号	59	平成30年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第4号）について	3月5日	原案可決
議案第48号	60	平成30年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第6号）について	3月5日	原案可決
議案第49号	61	平成30年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第3号）について	3月5日	原案可決
議案第50号	62	平成30年度南大隅町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	3月5日	原案可決
議案第51号	63	平成30年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）について	3月5日	原案可決
議案第52号	64	南大隅町個人情報保護条例の全部を改正する条例制定の件	3月5日	原案可決
議案第53号	65	南大隅町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	3月5日	原案可決
議案第54号	66	南大隅町公営住宅条例の一部を改正する条例制定の件	3月5日	原案可決
議案第55号	67	南大隅町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定の件	3月5日	原案可決
議案第56号	68	鹿屋市との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について議決を求める件	3月5日	可決
議案第57号	69	南大隅町立歯科診療所の指定管理者の指定について議決を求める件	3月5日	可決
議案第58号	70	権利の放棄について議決を求める件	3月5日	可決
諮問第2号	71	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	3月5日	適任と答申
議案第68号	81	請負契約（南大隅町本庁舎建設工事（電気設備工事））の締結について議決を求める件	3月26日	可決
議案第69号	82	請負契約（南大隅町本庁舎建設工事（機械設備工事））の締結について議決を求める件	3月26日	可決
議案第1号	1	南大隅町課設置条例の一部を改正する条例制定の件	4月2日	原案可決

（平成31年度当初予算分は6ページに記載）

○陳情審査結果

陳情4号	森田町長の一連の報道について100条委員会の設置もしくは、調査特別委員会設置を求める陳情書	不採択	賛成少数の為
陳情5号	政治倫理条例に関する陳情	採 択	願書は妥当と認める

南大隅高校存続問題等調査特別委員会

【南大隅高校校長と意見交換】

2月4日、本庁全員協議会室において、南大隅高校與崎校長先生と存続問題について、意見交換を行いました。

平成30年度の生徒数の状況は、1年生31名、2年生28名、3年生37名の全校生徒96名とのことでありました。その内、自転車をやりたいと、遠くは沖縄、大阪から、合わせて19名が在籍をしているとのことでした。

校長先生の意見は、町からの様々な就学支援に感謝しながら、もともと自転車部のある学校としてアピールしていくとのことでありました。併せて、地元にある高校として、錦江町と一緒にになり、存続問題の取り組みをしてほしいとの希望でありました。

今後は、南大隅高校存続問題等調査特別委員会では同じような高校で、存続に関して特色ある取り組みをされている高校と意見交換等をしていきたいと計画しております。



所管事務調査報告

教育産業常任委員会

【小中一貫教育等調査及び一次産業振興等調査について】

教育産業常任委員会では、去る2月12日に南さつま市「坊津学園」において、小中一貫教育等調査を、翌13日に日置市「ゆす村農園」において一次産業振興等調査を実施しました。

小中一貫教育等調査で訪れました、南さつま市「坊津学園」は平成22年4月、施設分離型小中一貫校「坊津学園小学校」、「坊津学園中学校」として開校しましたがその後、平成29年4月から、施設一体型小中一貫校、義務教育学校「坊津学園」として開校されました。

坊津学園の特徴、コミュニティ・スクールとしてふるさとを学ぶ「坊津学」を地域や保護者とともに進められていました。また、6・3制でいうところの中学校の、専科の教諭が中期の時数を担当することにより、教諭間の担当時数の調整が図られています。



た。今回の調査を通じて、小中一貫教育を進めるならばメリットの多い、施設一体型を目指すべきと考えられます。次に一次産業振興等調査で訪れた日置市の「ゆす村農園」は、マンゴー・アボカドなど熱帯果樹の苗木を生産・販売する会社で、約100品目を生産され、いずれかが特産品になればと多くの品種を取り扱う農園でした。本町でも、振興作物として、アボカドなど栽培に取り組んでいます。が、風土に適した品種の選定・振興を図っていく必要性を感じました。



掲載順	質 問 事 項	質問議員
1	・地域おこし協力隊について ・技術系職員について ・馬毛島米軍訓練について	木佐貫 徳 和
2	・高齢者福祉について ・子育て包括推進室新設について	後 藤 道 子
3	・一次産業施策について ・平成 31 年度予算について	大久保 孝 司
4	・成年後見人制度について	津 崎 淳 子
5	・産業振興に係る持続可能な事業推進策について ・観光資源の活用法について	松 元 勇 治
6	・高齢化率、無人化集落について ・馬毛島問題について	大 坪 満寿子
7	・コミュニティバスの運行について ・旧根占中学校の跡地活用について	浪 瀬 敦 郎

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人あたりの持ち時間は、答弁を含め 60 分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

木佐貫 徳和 議員

地域おこし協力隊を募集される計画があるのか



町長

各課から4人の募集依頼を受けている

議員

全国に地域おこし協力隊は4,976人います。その中で任期を終了した隊員は、2,230人で、1,396人、率で63%が地域に残り、定住しています。

地域おこし協力隊制度はどういう趣旨でできていて、その財源措置はどの程度か伺います。

企画課長

制度概要は都市地域から過疎地域等に住民票を異動し、生活の拠点を移し地域おこし協力隊として委嘱されます。地域ブランドや地場産品の開発、販売、PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事などの地域活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る取り組みであります。

議員

報酬及びその他の経費について年4百万円、隊員の募集経費に2百万円の国の特別交付税が支援されます。

制度の趣旨は、3年間でその地域で活動を行いながら、最終的にその町に移住、定住してもらうような活動をしていかなければならない。今いる地域おこし協力隊の募集時の内容はどのようなものか伺います。

観光課長

観光課では、観光協会の運営、地域資源調査、旅行商品作り、イベント企画作り、観光人材育成に関するサポートなどで募集しました。

経済課長

経済課では、地域農業の活性化を図る観点で、就農を志す方を募集しました。内容は熱帯果樹栽培管理、育苗、加工品の研究、研修を予定し、業務終了後は、研修した成果を踏まえ、農家として自立し、6次産業などの加工品の開発に取り組んでほしい旨の募集をしました。

議員

観光協会にいる隊員は、任務終了後、定住の見込みがあるのか伺います。

観光課長

退任後も本町への定住を希望する旨の意思表示をしています。

議員

移住・定住するためには、3年後に所得がないと生活する糧がないが、どの様な支援を計画しているか伺います。

企画課長

平成31年度から地域おこし協力隊が退任した年度又はその翌年、起業又は既存の事業を継承される場合は、備品購入や賃借料等が対象になり、定額百万円以内で助成します。

議員

庁舎内で協力隊を募集しているところがあるとのこと

だがどのような募集方法か伺います。

企画課長

専門的な外部組織に委託しています。又、JOINが開催する移住交流フェア、毎年1月に開催される地域おこし協力隊募集ブースがあります。企画課で行き面接を行い募集をします。

議員

農業や自分で起業できる飲食サービス業、観光関連職業も取り組み次第では移住定住につながる事ができるので、この地域おこし協力隊の活動を支援していただきたい。



地域おこし協力隊の活動

議員のひとり言

地域おこし協力隊を定住に繋げる支援を……

食の自立支援事業の現状を伺う



町長

**現在根占地区103名、佐多地区47名利用
年々増加傾向にあるため検討が必要**

議員

この事業は年間委託料として支払いをされているが、一食いくらで委託され、また利用者負担額はいくらか伺います。

福祉課長

平成30年度で事業所へ2,160万円、一食当たり約400円。またシルバー人材センターへ335万円の委託料を支払っています。

利用者負担は一食400円となっています。

議員

今後は高齢化が進むに当たり、利用者が増えることが予想されますが、今後の委託事業継続のためには改善すべき点があるかと考えるかのように対応されるか伺います。

福祉課長

近隣市町につきましては、好き嫌い、アレルギーへの

議員

平成30年度予算で保温弁当箱を購入しましたが、現在の利用状況を伺います。

福祉課長

弁当箱の購入は300個で、平成30年11月9日に事業所に届けまして、利用者は24名と聞いております。

議員

保温弁当箱の使用開始が3月からだったようだが、冬場に温かい食事の提供ができるはずが、なぜ使用開始までに時間が掛かったのか伺います。



福祉課長

利用者の方は、認知症の方や身体機能が低下されている方がほとんどですので、一人一人の使用可能な状況の確認に時間を要して3月からとなっております。

議員

この配食を利用される立場のことを考えながらやっていただきたい。



町長

**ワンストップ窓口にて移住定住
就業等の支援を目的として設置**

子育て包括推進室新設について

議員

どのような目的で新設されるのか？また昨年3月会議の一般質問の中で移住定住の窓口申請に係る要望が一部実現されたと考えてよろしいでしょうか？

町長

母子保健及び子育て支援事業を一体的に行い、切れ目のない包括的な子育て支援及び昨年3月会議で申請書作成支援窓口の設置についてご質問いただきましたが、それを踏まえた上で、今回ワンストップ窓口にて移住定

議員

今まで以上に相談しやすい窓口、誰でも気軽に来れるような窓口になることを希望します。

住や就業等の支援を目的として設置するところです。

議員のひとり言

子どもや高齢者が過ごしやすい町にしたいな !!

一次産業施策について問う



議員 林業、漁業の活性化を図るため、新規就農者研修制度事業等に倣い新規の林業、漁業の担い手確保、育成の支援策を図る考えはないか伺います。

町長 就農交付金と同様に町単独の施策が必要であると考えます。林業では担い手確保に31年度から森林環境譲与税を活用した支援対策を進めます。漁業担い手は31年度、地域おこし協力隊を募集し、自立、就業、定住の支援策を計画します。

議員 果樹振興策として、たんかん収穫等による事故防止策、老木の低木化事業を進める考えはないか伺います。

町長 近年、収穫作業中の落下事故の事例もあり、樹高の低木化に向けた対策、支援策として果樹振興対策事業の運用を図り、産地の維持、継続を進めます。

経済課長 31年度から、年次的に進めていきます。

議員 30年産バレイシヨ価格低迷により、31年産作付面積が減少し、本年も期待される価格は望めそうにない現状で、かごしまブランド作物バレイシヨの振興と継続を図るため、固定経費の補助は考えられないか伺います。

町長 対策については、バレイシヨ部会の意向を踏まえ本町、錦江町、JAで構成するなんぐう農政協議会で協議、検討していく必要性があると考えます。

平成31年度予算について問う

議員 県補助金元氣おこし事業の希望申請事業数は何件か、また、2事業予算化されているが、認可が下りなかった場合事業はどのようにされる考えか伺います。

町長 3事業要望しており、3事業に限らず予算案計上事業は、いずれも必要性の高い事業であるので、補助金の割当内示に関わらず事業実施を図ります。

議員 各課から出された希望事業数と県の認可の時期はいつ頃になるか伺います。

企画課長 前年9月の段階で9件であり県の内示は、30年度は5月1日でした。

議員 県の内示が5月1日であれば、当初予算では一般財源で組むべきと思うがどのような考えか伺います。

総務課長 予算編成にあたりましては、補助事業での歳入がおおよそ見込めるものにつきまして財源確保、補助事業の明確化を図るうえから当初予算で計上しております。

議員 来年本町で開催される国体自転車競技は県が主導すべき大会と思うが、30年度国体準備事業、31年度国体実行委員会運営補助は本町負担が多く占めているが町としてどのように考えているか伺います。

るか伺います。

教育長 本年リハール大会、来年国体本番を控え競技場全面改修、周辺施設整備を進めております。

大会競技運営経費については競技別リハール大会運営経費補助金の概要に則って県補助金を要望しております。

議員 当初で国体関係予算7千146万8千円であるが来年国体予算の見積もり額と本の負担額を示してください。

教育課長 実行委員会補助金として約5,200万円程度と想定しております。

議員 ロード競技に伴う一市三町での競技による道路の補修等整備の調査や県への申し出は行っておられるか伺います。

教育振興課長 簡易な道路の陥没や側溝の隙間等の補修等は改善を行っております。

平成29年に国が成年後見人制度利用促進基本計画を策定されたが、町で策定する考えは



町長 認知症や障害者で成年後見人の必要な方が今後、増えると思われるので、市町村計画策定も含め、対策を前向きに検討します

議員 相談支援体制を構築する考えはないのか伺います。

町長 これまでも、地域包括支援センター、社会福祉協議会、介護福祉課が連携して相談や必要な支援を行っています。平成31年度に大隅半島5町の社会福祉協議会で、法人後見事業を始める予定です。

「後見人相談支援センター」として、各町の社会福祉協議会に窓口を設置し、相談対応や住民への制度の周知、権利擁護の早期発見などの中核機能を担い、相談支援体制の構築を推進します。

議員 通常は、親族や一般個人、専門家である弁護士、司法書士、社会福祉士などが選任されますが、法人にすることによってメリットがあるか伺います。

福祉課長 社会福祉協議会は、これまでも福祉サービス利用支援事業として、様々な相談や通帳管理などを行っています。メリットとして、

- ① このような通帳管理について法的に明確にされる。
- ② これまで培ってきた高齢者や障害者へのノウハウを生かして、本人の意思を尊重した支援が行

える。

③ 個人の後見人に比べても、公共性、安全性が高い。

④ 弁護士などは、地域を知らない、その方をよく知らない。

議員 次に、大隅半島5町の社会福祉協議会で法人後見事業を始めるそうですが、その5町での取り組み内容とメリットを伺います。

福祉課長 5町で協議会を組織し、法人後見事業の届けをする。メリットとして、

- ① 5町なので、窓口が広域になり、在住の町で相談しにくい方は近隣の町への相談が可能になりプライバシーの保護にも繋がる。
- ② 大隅半島の社会福祉協議会は一つという意識の下でお互い職員が足りないところなどカバーをし合っていく仕組み

議員 平成29年度から地区社協を立ち上げていますが、主な目的が地域の見守りと災害時の援助と支援とお聞きしましたが、見守りとしてどのような活動をされていますか。

福祉課長 福祉マップを作成し、見守りが必要な方を挙げて頂き、その方に見守る方を決めて毎月1回、社会福祉協議会に報告して頂くようにしています。

議員 自助・共助が生かされていると思います。地区社協の見守りは、法人後見の支援員として又、地域連携のネットワークの中のチームの一員としての役割が大きく占めてくると思います。

最後に、過疎高齢化率1位の我が町は、一人暮らしや身寄りのない高齢者、家族と疎遠な高齢者、認知症の方もますます増加するでしょう。また、知的障害者や精神障害者を持つご家族も将来を心配で不安だと思えます。実際に、認知症の高齢者を狙った詐欺被害や親の年金を搾取する事例も出ています。この様な事を防ぐ為にも、成年後見人制度は必要だと思

います。



判断能力が不十分な方々を保護・支援する制度です。知ってほしいな。

議員のひとり言



高齢化と人口減少による問題 持続可能な事業推進策について

町長
事業継承策など農商工及び観光業
と関係部署との連携を深めながら
検討したい

議員
高齢などによる事業継承を円滑に行うための担当職員
の配置はできないか伺います。

町長
非常に重要な案件だと思います。
ついでです。

補助事業や支援事業、また住み
続ける事業やパッケージ事業など
で対応していきます。またブロン
ズ人材センター等で事業継承の担
い手をマッチングさせるなど、行
政としては、サポート体制をとっ
ていきます。

職員の中に、商工担当がいます
ので、商工会など連携して事業説
明等をしに行くなど、方法を考え
たい。

議員
漁業者の担い手不足を補
う施策は考えていないか伺い
ます。

町長
関連支援策を整備して、
関係団体と連携しながら広
報活動を展開していきます。

就業者については、漁師塾での
研修を始め、熟練の漁業者から技
術の伝承を受けることができない
か検討して漁業に従事しやすい環
境整備を図ってまいります。

観光資源の活用法について

議員
観光産業に果たす観光協
会の役割をどのように考え
ているか伺います。

町長
行政では成しえないスピー
ド感を持ち、収益事業にも
取り組んでいただいています。

また、観光プロデューサーを中心
に取り組むプロジェクト事業を支援
することで、民間主導の体制も推進
できるものと考えております。

議員
観光協会の果たす役割は、
経済活動を伴うことですが、
会員（住民）は、色々な意見を持っ
ていると思いますが、その中で制約
がかかるのはいかがでしょうか。

議員
さたでいランドの現指定
管理者の期間満了に伴い、
次期指定管理者不在になった中、
さたでいランドの今後の活用法を
どのように考えているか伺います。

町長
設置目的であります、町
内外者を対象に、観光及
びレクリエーションの場を提供し、
地域の活性化を図る為、今後、除
草清掃等を行い、再度、指定管理

者の公募を行いたいと考えていま
す。

議員
観光事業については、積
極的に住民参加の場を用意
して、住民の知恵を踏まえた計画
の中で事業を推進していただき
たい。

町長
行政としては、観光協会
に丸投げしているわけでは
ないですが、観光産業のあり方も
一緒になって、今後もやっていき
たいと思います。

議員
映画「きばいんせ！私」
に関し、地元へ経済効果を
上げる施策を考えていかなければ
ならない。

議員
町からすると多額の経費
を出し、制作映画で知名度
も上がり、来遊される人も多くな
ると予想されます。

目的と手段を見失わないよう、
投資の分、色々な面で最高の効果
を期待し、仕掛けをつくる必要が
あると思われます。

明日為すべきことは、今日これを為せ。

議員のひとり言

高齡化率・無人化集落について
無人化する恐れのある
集落の実態を伺います



人口規模が小さいほど集落機能の維持が困難となり、高齡化率も高いことから将来的に人が住まなくなる可能性があると考えられる。

(本町の二一八集落の人口規模)
「五十人未満―六六集落」
「五十人以上百人未満―二九集落」
「百人以上二百人未満―二〇集落」
「二百人以上―三集落」

議員 老人福祉施設に入所できない方の実態を伺います。

町長 特別養護老人ホームの待機者は一〇四名。グループホームの待機者は二〇名。医療機関等、在宅以外での待機者が多く在宅での待機者は一二名です。

議員 色々難しい面もあると思いますが施設入所を申し込んでも、なかなか順番が回ってこ

ないと言われる介護者や高齡者が多いです。無人化集落を出さないためにも、問題になっている空き家や廃校等改修し民間委託、施設運営できれば、待機高齡者の解消にも繋がり、雇用も生まれ、移住定住にもつながると考えます。高齡化率県内トップの南大隅町ですが、福祉の町としてアピールするのも一つのアイデアだと思いますので高齡者の受け皿を考えてください。

高齡者の作業軽減の為に、人口減で作業がはかどらない自治会の為に、路肩の舗装化はできないか伺います

建設課長

集落において高齡者が多くなっている現状は理解しております。その中で、新設改良工事や路肩補修工事の時に草払い等の軽減を図る観点から、一部で実施している所です。

議員

路肩の舗装を推進すれば、高齡者や少人数の自治会の作業軽減にも繋がると思います。



改修工事が必要でない町道も路肩の舗装化はやるべき事業だと思いますので是非検討してください。

馬毛島問題。米軍の空母艦載機離着陸訓練施設基地計画について町の基幹産業へ多大な影響があると考えられるが町長の見解を伺います



町長

平成23年議員発議により訓練施設の馬毛島への移転反対の意見書が可決、県や政府機関へ提出された経緯も十分尊重し国の動向を注視したい。また、「畜産」「漁業」等への影響が心配され

議員

馬毛島に基地が出来た場合、訓練機が南大隅上空を通過する可能性が高いです。町に影響が出る可能性が少しでもあるならば、それを阻止するのが首長や議会の務めではないでしょうか。南大隅町の基幹産業を守るため、我が町として反対していくべきだと私は考えます。

るところであります。

浪瀬 敦郎 議員

コミュニティバスの現行の 町内の公共交通運行状況は



町長

利用者の声を聴いて運行します

議員

コミュニティバスとスクールバス、鹿児島交通との接続や運行上の不具合はないか伺います。

企画課長

コミュニティバス・スクールバス混乗と廃止代替バスの鹿屋・垂水行とは多少待ち時間はありますが大体において接続はできていると考えています。

議員

民間事業者に、町からの助成はいくら出しているか伺います。

企画課長

廃止路線代替バスに本年度予算で一千四百万円補助を出しています。

議員

コミュニティバスの利用状況を伺います。



コミュニティバス利用状況

町長

根占地区は年間2485人、佐多地区は2233人、スクールバス混乗は1779人、佐多温泉送迎バスは1140人が利用しています。

議員

ネッピー館に到着してから3時間位待機状態であるが、この時間を利用して何か方法はないか伺います。

町長

地域公共交通会議で福祉バスみたいなコミュニティバスの話し合いをしますが、公共交通機関の運行区間内での乗降はできない決まりになっています。

議員

アンケート調査を実施し運行方法の改善につなげる考えはな

町長

土砂を撤去し
更地に整備します

議員

グラウンド内の土砂の取り扱いはどのように考えているか伺います。

町長

土砂については公共事業で置きされた残土を再利用目的で仮置き状態ですが、再利用はほぼ完了しており地域住民の方々は環境的に大変ご迷惑をお掛けしています。残った土砂は搬出処分し更地に整備する予定です。

議員

何年をめどに更地にする予定か伺います。

町長

なるべく早い段階でやろうと考えています。

いか伺います。

町長

平成29年にアンケート調査を実施し、根占地区の増便も行いました。今後も利用者の声を聴きながら地域実情に合った利用しやすい運行に努めていきます。

議員

今後の活用策をどのように考えているか伺います。

教育長

グラウンドについては誰でも使える状態で管理し環境美化に努めていきます。

議員

更地にすることで新しい発想への夢を描ける環境づくりに繋がり、私個人的には現在検討されている医師会立病院の建て替え場所にも最適ではないかと考えています。



議員のひとり言

公共交通は住民目線に立った運行改善を……

ひとこと

No.3

船倉 浩さん



私は、議会を傍聴したり、「みんなの議会」を読んでもいつも疑問に思う事があります。それは、議員の方々が質問された内容に対して「今後、検討します。」という答弁を良く耳にします。そのたびに思うのですが、検討した結果どの様になったのだろうか、具体的に何か実施されたのだろうか、全てとは言いませんが、その結果をこの「みんなの議会」で知ることができたらいいなと思っています。

確かに「みんなの議会」は以前に比べ非常に読み易くなっていると思います。写真やイラストが多く使われているのも見易くなった原因ではと感じています。

また、誌面もカラーになり色鮮やかになっていますが、私には、あまりにも色が多すぎる様に思われます。たくさんさんの色を使いすぎて、かえって読みづらくなっているように感じています。

編集後記

改選後、2年が経過し広報広聴常任委員会の委員も代わりました。今後2年間、工夫しながら町民の方々が読みやすい紙面作りに努めたいと思います。

さて、平成から令和への改元により4月から5月にかけて10連休がありました。

本町を訪れた方は10日間で佐多岬に2万1千人、雄川の滝に1万5千人だったそうです。

佐多岬もリニューアルオープンした関係で多くなっていると思われるですが、南日本新聞の、ひろば欄に「行きたくなる佐多岬になった。」と嬉しい投稿が掲載されておりましたが、食事をする所がなかったとか、お土産が少なかったとの声もありました。

今後、観光協会、商工会、物産協会等が連携されて、町民の方々の経済効果を生むような取り組みをしてほしいと思います。

最後に、議会に対するご意見や「みんなの議会」を読まれた感想などを、お寄せください。

木佐貫 徳和

【お知らせ】

6月会議は、11日（一般質問）、12日・20日に本庁議事堂で開催予定です。

「みんなの議会」で見ることができない議会が、ご覧になれます。

【発行責任者】

議長 大村 明雄
副議長 津崎 淳子
委員 木佐貫 徳和
委員 水谷 俊一
委員 松元 勇治
委員 後藤 道子
委員 大坪 満寿子

（広報広聴常任委員会）

表紙の風景

連休期間中、大勢の観光客でにぎわった佐多岬

